



# はなみずま



のじりこびあ



ポピー



すきむらんど大つり橋



出の山公園



南小校区



意見交換会  
会場  
主催 小林市議会



野尻小校区



細野小校区



紙屋小校区

臨時号では各地域のテーマを中心に掲載しています。詳細については小林市ホームページをご覧ください。

小林市議会では議会基本条例に基づき昨年引き続き、2回目となる「市民との意見交換会」を実施しました。

また、地区テーマについては、各市区における問題点などについて意見が交わされ、自由意見として、去年同様小学校区単位の市内14会場、7月28日～31日（4日間）まで、5名づつ4班に分かれて開催しました。

延べ310人参加をいただき各会場では多岐にわたる活発な意見が交わされるなど意義のある交換会となりました。

意見交換会の主な目的は、①議員の活動について理解を深めてもらう。

②市民の意見を幅広く聴取し、市政に活かす。③さまざまな意見を参考に、ニーズにあった政策提言を行うなどです。

今回の実施内容は、各地区とも共通の統一テーマをもつ「活力ある地域づくりのために」雇用・結婚・子育て・定住」といった地方における課題や課題について幅広く意見を聴取することとなり、テーマ設定を行

なりました。意見交換会の実施については、計画当初からご協力いただきました各市区の区長さんをはじめ、参加くださいました皆さんに厚くお礼申し上げます。

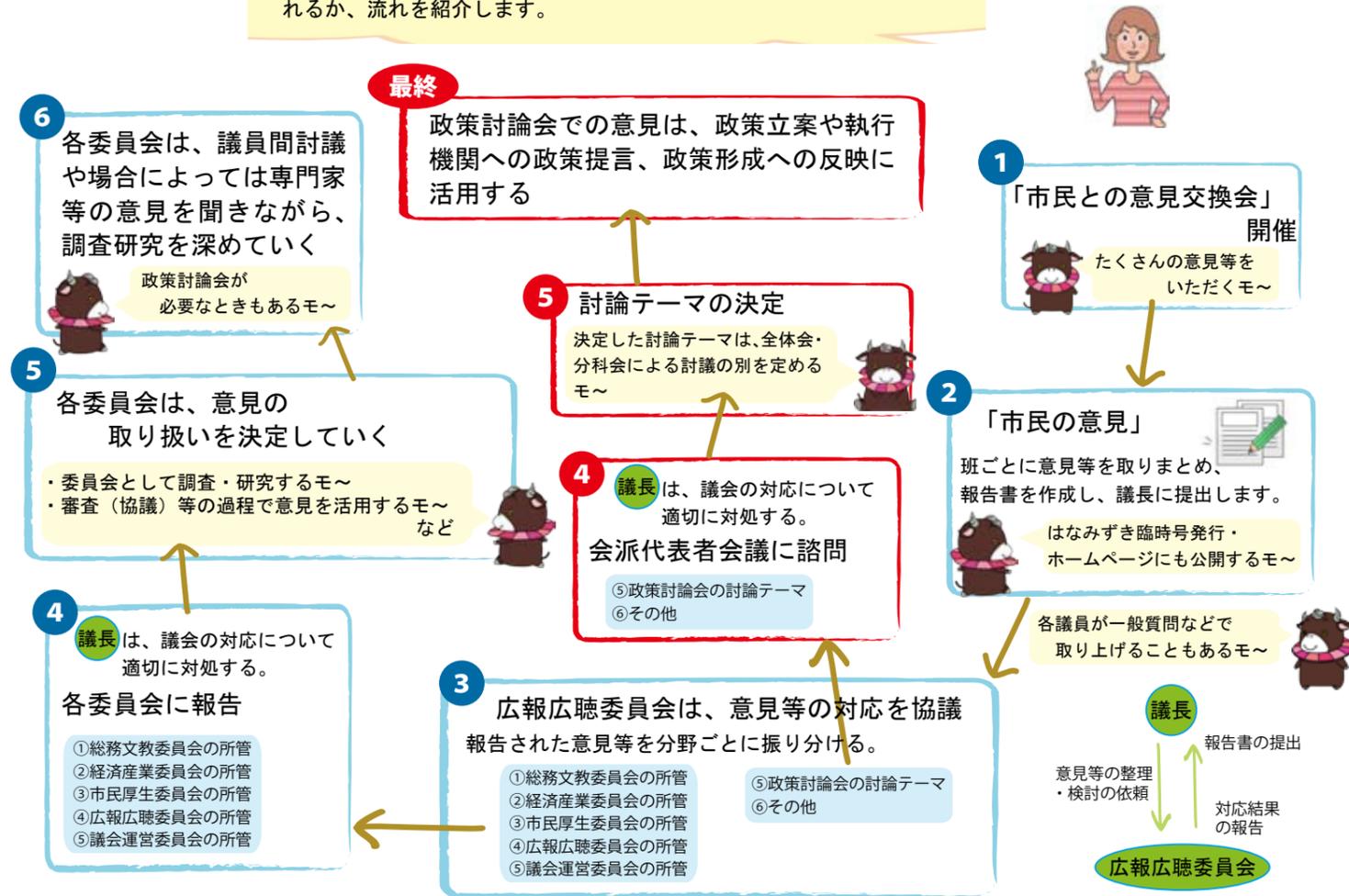
意見交換会の実施については、計画当初からご協力いただきました各市区の区長さんをはじめ、参加くださいました皆さんに厚くお礼申し上げます。

意見交換会の実施については、計画当初からご協力いただきました各市区の区長さんをはじめ、参加くださいました皆さんに厚くお礼申し上げます。

意見交換会の実施については、計画当初からご協力いただきました各市区の区長さんをはじめ、参加くださいました皆さんに厚くお礼申し上げます。

「市民の意見」ってどうなるのだろう？

「市民との意見交換」で出た「市民の意見」が、その後、どのように活用されるか、流れを紹介します。



統一テーマ

「活力ある地域づくりのために」

雇用・結婚・子育て・定住

市民の意見  
議員の意見

幸ヶ丘小校区

公的・私的な婚活事業はどういう状況か。ダイレクトメールなどで婚活案内を出すなどしてはどうか。

婚活事業は団体や商店街などでは行われているが、市としての取り組みは行っていない。当局に対し、旧野尻町で実施した「トリプルあい事業」は実績もあり、復活させてはという意見が、議員から出ている。

市立病院は西諸中核病院である。医師を確保してほしい。

常勤医師確保に向け、当局に要望していく。



三松小校区



企業誘致してもパートやバイトなどでは子供は育てられない。地元企業の優遇などで結婚・子育ての環境作りが必要ではないか。

地方版総合戦略という長期ビジョン計画が作成される。一般質問や委員会審査を通して要望していく。

小林の特徴あるもの、得意なもの伸ばすべきではないか。

牛肉・マンゴー・メロンの産地であり、水など豊かな自然もある。ふるさと納税では小林の名産品を返礼品として贈っている。一般質問や委員会審査を通して提案していく。

小林小校区

空き家バンクは何件登録があるのか。移住してきた人たちに對してのサポート体制ができていないから引越してきても長く続かない。

空き家バンク登録はまだ10数件で件数は少ない。移住希望者にお試して、売子木団地の空室を提供したり、若干の滞在費補助をしている。サポート体制の充実に関しては、一般質問や委員会審査を通して提案していく。

耕作放棄地が増えている。農地活用のために、若い人の就農サポートはできないのか。少額の補助金が沢山あるが、まとめて大きなことに補助して、雇用が発生するようなことはできないのか。

新規就農（45歳以下）の方には、年150万円ずつ3年間補助が出る。農地の貸し借りについては、農地中間管理機構が貸し手に対し協力を金を出す制度もある。PRが足りないことを担当課に伝える。



東方小校区

ごみの問題で、宮崎から来た人が、小林はものすごく厳しいと言っている。こんなに大変なら、他のところに住もうかと言っている。

昨年の意見交換会でも、同じような声が多く出された。一般質問や委員会審査を通して検討を求めている。

子育て支援で商品券を配ったが、反応はどうだったか。

配布初日から多くの人が来ていた。待ち望んでいたようだ。

「北部地域活性化協議会」が再開される。来年2月のまちづくり協議会の立ち上げに向けて準備をしている。協力をお願いしたい。

協議会が再開されることで、きずな協働体の足がかりとなれば良いと考える。





## 西小林小校区



- 若者がいなくなり、過疎が進んでいる。若者が地域に定着する施策を講じてほしい。市立病院の小児科・産婦人科の充実、若者の雇用の確保をしてほしい。
- 現在は小児科の非常勤医師が毎週金曜と日曜・祝日に月2回診療している。常勤医師確保に向けて、引き続き当局に要望していく。
- 雇用確保が本市の第一の課題である。そのため、3.9ヘクタールの工業団地を南西方字杉玉に造成することになった。
- 工業団地をつくるということだが、光ケーブルやケーブルテレビもないでは企業も来ない。環境整備を当局に訴えてほしい。
- 高速インターネット環境の整備も併せて、一般質問や委員会審査を通して要望している。



- 江南跡地の活用は。
- 今は全くの構想段階である。
- 川内原発で事故が起こった場合、本市も影響を受け、農業などが風評被害に遭う恐れがある。議会として再稼働に反対運動をしてほしい。
- 6月議会で、市民から「(株)九州電力に住民説明会を求める陳情書」が出され、議会は不採択(却下)としたが、9月議会では、「川内原発再稼働について公開住民説明会を求める請願」を採択した。



## 細野小校区

- 人を増やすには企業誘致は必要。地元の意見がまとまれば準工業地域として申請したい。
- 小林的良い所を再発見し、観光事業に取り組みべきだ。しじみなどの養殖などの産業化はできないか。
- 市民農園など各地区で開放できないか。
- 工業団地造成の計画がある。観光面では農家民泊など進めている。しじみの養殖については、農地転用の問題がある。雇用については、地場産業の育成も必要であるので、様々な意見を要望・提案していく。



## 紙屋小校区



- 人口を増やすために、子育て支援のための住宅提供を考えてほしい。土地改良区の償還の終わった農地を宅地として提供し、若い人に家を建ててもらうことはできないか。
- 転勤族だが、えびの、都城、西都宮崎、全て紙屋から通えた。小中一貫校をつくったが人数が少ない。よそから呼び込むことを提案したい。
- 議会全体で議論を深めていきたい。
- 議員の報酬は十分活動するだけの金額なのか。
- ある町では、人口減少に歯止めをかけるために町長自ら給料を半額に、議員も40%削減して財源を作り、第4子に100万円をプレゼントするそう。小林市議会は、定数削減はしたが30%の報酬削減は検討しただけで終わっているようだ。
- 議員報酬については市民の皆さんにアンケートをとった結果、6割の方が今のままで良い、下げるべきが約1割、上げるべきが約1割であった。この結果も踏まえ現状維持ということにした。

## 内山地区



- 保育園も学校も無くなった。市長が対策をしない限り、人口はもっと減るだろう。スローガンはいいが、現実はずいぶん厳しい。何をしてもどうしようもない所まで来ているが、何もしないとますます悪くなる。
- 須木区自体が、畑も少なく鹿や猪など有害鳥獣の被害もあって、とても農業だけでは食べていけない。林業は衰退していく一方で、主となる産業がないのが問題。地域の方から意見があれば聞かせてほしい。須木区は、自然がすばらしく来たい企業はあるが、企業誘致にインターネット環境が悪いことが、ネックになっている。まずは、インターネット環境の整備が必要である。
- 結婚について、独身者が多い。何か「お見合い大作戦」のような大きな取り組みが必要ではないか。
- 必要性は強く感じている。ただ、今の若者たちは、結婚に夢を持っていない。「結婚しなくても今のままでいい」という人が多くなっている。結婚して、出産できるような支援、子育て支援など、一般質問や委員会審査を通して要望していく。

## 野尻小校区

- 本市は有効求人倍率が高いのになぜ就業していない人が多いのか。
- 本市の有効求人倍率は1.5、1.3で県内9市の中でトップクラス。倍率を押し上げているのは、医療・福祉系の求人が多いからである。希望する人とのミスマッチが原因である。
- 娘は小児糖尿病。保育園で対応できず、病院の託児所で預かってもらっている。保育園に看護師を確保してもらいたい。小学校ではどう対応できるのか。

- 小林中央保育所には看護師がいる。他の保育園でも看護師が確保できるように委員会審査を通して働きかけている。小学校での対応は、教員委員会です。支援等について総合的に検討している。



## 永久津小校区



- 結婚が晩婚化傾向にある。若者の出会いの場が少ないのでは。
- 結婚しても共働きが多い。子育ての環境整備が必要。出産手当など市独自の取り組みはできないか。
- 地域での各種団体のリーダーのなり手がいない。
- 小林的産業にマッチングした企業誘致が必要である。地場産業の支援も大事なことである。出生率は高いが、若い人の定住につながっていない。一般質問や委員会審査を通して、子育てなどの支援を今後も求めていく。

## 鳥田町地区

- 高齢化が進み、人口が5年後には3分の2になるといわれている。市営住宅の空きがない。建ててもらえば移住もあるのでは。
- 市営住宅建設は、各地区から要望が出ている。人口減を食い止める有効な手立てである。一般質問や委員会審査を通して提案していく。
- 学校教育の中で、児童と地区住民との触れ合いということで、参加者が来るがあまりにも多い。他に方法もあるのでは。
- 子供達には故郷はここしかないのだから、地域の子供という感覚で接していただきたい。すばらしい子育ての環境にあると思う。



## 南小校区

■ 市の活性化のために、住みやすいまちをつくるのが、一番のテーマだ。駅ビルを作り、バスを巡回させ、買い物が出来、毎日イベントを行うようにする。核になる場所をつくるのが大事。

■ 工業団地を早く完成・完売し、もう1箇所作ってほしい。

■ 固定資産税を安くするなどして、企業に来てもらえるようにしてほしい。

■ 固定資産税は3年間免除している。小林市民を新規雇用した場合の助成を行っていることなどをアピールしている。

■ 小林は水のまち、水を使った産業が伸びたり、県外に訴えるものなどを作っていかないと、未来に魅力がない。県外の大手・中小企業との共同事業・県外の方と人材交流をしていけるといい。

■ 小林は水もきれいで自然もある。全小学校で、毎朝読み聞かせもやっている。子どもの似合うまちをアピールしていけば子育て世代は集まって来る。定住して通勤してもらえたらいいと思う。

■ 貴重な意見。一般質問や委員会審査を通して提案していきたい。



■ 道の駅を大型化した形、多目的なイベント・行事・まつりが出来て、人が集まる所にすれば、小林駅が良くなっていくと思うので検討してほしい。

■ 小林駅・中心市街地が、中心となっていかなければならない。議会としても検討していきたい。

■ 若い人は燃えている。議会と市民が一緒になって、グループ討論を何度もしてほしい。一人ひとりが、情報を受けて考える力をお互いが作らないといけない。

■ 今までの議会からの情報発信が、議会だけでなく頼っていてこれではだめだという事で、去年から意見交換会を年1回するようにになった。回数を増やしていけるか検討し進めていく。また、要望があれば分野別の意見交換会を開催する。

## 栗須小校区

■ 雇用の場が少ないため、若者が流出している。企業誘致はどうなっているのか。

■ 地元の農業につながる「6次産業化」の取り組みなどで、企業誘致が考えられる。

■ 大型客船の寄港で外国人観光客の誘致やスポート合宿の誘致はできないか。

■ 3年前に行政組織の再編整備がされたが、その状況は。地方創生戦略は市当局と議会との連携が必要だと思う。

■ 組織再編成については、以前より職員の意識向上につながっている。議会では3つの常任委員会が、地方創生に向けての意見を取りまとめたものを基に、市当局と議会との意見交換会を実施している。



■ 外国人労働者・研修生の受入れ状況はどうなっているのか。

■ 関係する所管課で把握している。

■ 組織再編成については、以前より職員の意識向上につながっている。議会では3つの常任委員会が、地方創生に向けての意見を取りまとめたものを基に、市当局と議会との意見交換会を実施している。

■ 外国人労働者・研修生の受入れ状況はどうなっているのか。

■ 関係する所管課で把握している。

## 須木小校区

■ 地域づくりで、人口減少の歯止めは難しい。人口減少を食い止める手立てを考えているのか。

■ 定住環境を整えること、空き家バンクもやっている。結婚と子供を生み育てる環境をどうつくるか、一般質問や委員会審査を通して提案していきたい。

■ 空き家はいっぱいあるが、家財道具が入っていて、話が進まない。

■ 家財道具をそのまま貸し出している所もある。自治体が家財道具を倉庫に預かっている所もある。視察などで調査したい。

■ 地域自治区を残してほしい。協議会でも産業が廃れてきた理由を調べ、人口増加に繋げたいと頑張っているのを応援してほしい。

■ 地方創生は、地域が元気にならなければ、全体が元気にはならない。地域の意見を聞かせていただき、一般質問や委員会審査を通して地域の意見を伝えていきたい。まちづくり計画も地域協議会が中心となって、ビジョンを描いてほしい。



## 地区テーマ

### 幸ヶ丘小校区

参加者  
20人

#### テーマ① 校区内にある公の施設の管理

■ 幸ヶ丘小校区内の公共施設の指定管理はどこが受託し、契約期間、指定管理料はどうなっているのか。

■ 【調査事項】 多目的広場、テニスコート、コスモホールの指定管理を、(株)NPKが平成25年から29年までの5年間、年442万6千円で受託している。自主事業として、グラウンドゴルフ大会を開催し、施設利用料を増やしている。

■ 校区で施設管理を受託できれば、校区の活性化になると思うが。【調査事項】 資格要件もあり、公募に委ねている。様々な責任が生じるので、今後検討すべき課題である。



### テーマ②

#### 南西三区の自主防災について

■ 現在、幸ヶ丘小校区は第三分団第十部に所属している。校区独自で自衛消防団を結成する場合の組織の作り方、手続き、助成金等を伺いたい。

■ 【調査事項】 幸ヶ丘小校区だけで団員の確保ができるかどうかが課題。市としては、自主防災組織(自衛消防団)の支援に努めたいと考えている。



#### 自由意見

■ 近くに県の河川監視カメラや雨量計が設置してある。情報を住民に伝える仕組みは考えられないか。

■ 議会としても調査し、市や県にこのことを要望していく。

### 三松小校区

参加者  
34人

#### テーマ① 通学路を中心とした道路整備について

■ 子供の安全確保から、通学路を中心とした道路整備を急いでほしい。

■ 【調査事項】 たくさんの方の要望が上がっている。緊急性の高い所から優先順位を決め進めている。



#### テーマ② 防火水槽・消火栓の設置について

■ 防火水槽の古いものが多い。新設できないか。

■ 【調査事項】 市有地などを活用しながら、年2〜3基を順番に設置している。

### テーマ③

#### 企業誘致の促進について

■ 若者が定住するための優良企業と地場産業の育成が必要である。

■ 農畜産業を中心とした加工施設(6次産業化)など、地元が潤うような企業誘致を提案していきたい。

#### 自由意見

■ 子供の教育、地域づくり、人づくりに必要な学校司書の配置はどうなっているのか。

■ 【調査事項】 どのような本が欲しいか、各学校の要望を聞きながら図書館では少しずつ整理されている。

■ 消防協力金について地域で差がある。統一できないか。

■ 区長会などで検討してほしい。

■ 農業用廃ビニール、ポリなどを焼却する人がいる。生活環境を守るため、Gメンなどを組織し、取締りを強化できないか。

■ 焼却がある時は、生活環境課へ連絡してほしい。



# 小林小校区

参加者 21人

## テーマ① 江南跡地と 地域活性化



■ 上町からは堤の大型店の方が近い。なぜ中心市街地にお金をつぎ込むのか。そうしてほしいとは私達は思わない。

【調査事項】 まちづくりの計画書を国に提出し、認定されればいろんな補助事業が活用できる。商店会や商工会議所から陳情があり、市は小林駅を含め全体を網羅する事業として進めている。

■ 跡地利用はいいことだが、会社と市が手を組んでうまくいった例は余りない。議員のチェックを願う。

## 自由意見

■ 中央公民館の敷地内にあるごみ置き場は、景観の問題で次に建替える時はだめという話を聞いたが。

■ 市有地の使用については、市との交渉が必要である。

■ 政務活動費の有効活用をしてもらいたい。返還もいいが市民との勉強会などに使ってもらいたい。

## 議会活動報告への意見

■ ふるさと納税で小林市民がよそに寄付すると市の税収が減るのか。  
■ 当然小林市の税収は減るが、はるかに少ない額である。

■ 小林まちづくり株式会社への出資金は、土地は取得したのか。

【調査事項】 200万円である。土地は、市が取得した。

# 東方小校区

参加者 12人

## テーマ① 道路問題



■ 要望箇所は、どうなっているのか。

【調査事項】 すべて計画が上がっている。今年度は通学路の工事が行われ、その後順次工事していく。

■ 小原地区は道が狭く、離合できないので、広げてほしい。

■ 元JA東方出張所から東方中学校へ抜ける道路は、給食センターから先も広げてほしい。

■ 仲間から上ノ原に抜ける道路も広げてほしい。  
■ 要望は担当課に伝える。

## 自由意見

■ 須木の「かじかの湯」に電気風呂を付けてほしい。

■ 要望は伝える。利用されてる皆さんからも要求してほしい。

■ 三之宮峡のトイレをさせるようにしてほしい。「陰陽石のトイレを使ってください」の張り紙があるが陰陽石に行つて、戻るのは大変。

■ 一般質問でも取り上げられている。早急に解決できるよう、申し入れる。

■ 小中一貫教育は、どうなっているのか。

■ 小中連携の形で行われている。意見交換会を知らせる広報車は、隅々まで回って欲しい。

■ 本日が意見交換会の初日なので、早速対応したい。

# 西小林小校区

参加者 26人

## 自由意見



■ 小・中学校の耐震化はどうなっているのか。統廃合計画はあるのか。

【調査事項】 平成27年度に南小学校の改築が完了すると、耐震化率100%になる。統廃合計画は現在ない。学校の統廃合は、保護者、地域住民との丁寧な議論が必要と考えている。

■ 西小林小・中学校の玄関は鉄筋がむき出しになっており、モルタルは何回も補修している。廊下の天井から雨漏りもする。実情をしつかり把握し、対処していただきたい。

【調査事項】 今後は老朽化が課題。市は災害時機能の充実と長寿命化対策として、国の施策に従って計画策定に取り組み考えである。

■ はまだストア西側道路踏切整備の件はどうなったか。

【調査事項】 現在①踏切改良②道路改良③橋梁の架け替えを県に交渉中。まず道路敷地内の個人名義の土地を県道に編入するため、調査委託料を予算計上し、9月議会で可決された。議会でも実現に向け話し合っていく。

■ 北西方に避難所がない。議会から強く要望してほしい。

【調査事項】 市も状況を理解している。自主避難所として公民館等を利用できないか検討するということなので、議会としても一般質問等で要望していく。

# 細野小校区

参加者 21人

## テーマ① 防火用水の確保

■ 新興住宅地（一本松）の周辺には河川や用水路がなく、火災時には用水不足が懸念される。防火水槽、消火栓の設置はできないか。

■ 防火水槽は危機管理課、消火栓は水道課が管理している。区長から申請してほしい。

## テーマ②

### 緊急時の連絡網の整備

■ 災害時など緊急時において一斉に連絡できる方法はないか。外に設置する拡声器は大雨の時は聞こえないようである。

■ 防災無線を全地区に設置するとすると、須木地区など中継局が必要でコストがかかる。市では自主防災組織を進めている。

## 自由意見

■ 市職員の駐車場は有料化すべきではないか。

■ 一般質問で提案した経緯がある。再度確認する。

■ 百歳会館跡地はどうなるのか。建物も古いので取り壊し、図書

館の駐車場として利用すると聞いている。

■ コスモス牧場がなくなると子供の遊び場がなくなる。

■ 旧小林地区には子供の遊び場がない。一般質問等で提案していく。

■ 神之郷温泉から旧タートルスイミングまで安全灯の設置はできないか。

■ 一部設置してあるが、ない所もある。当局へ要望する。

# 紙屋小校区

参加者 27人

## テーマ① 男女共同参画社会の推進

■ 男性の考え方を考えてもらいたい。「輝けフロンティアのじり」の女性役員は1人である。いろんな組織に女性比率の枠を設けたらいいのではないか

【調査事項】 市の審議会などの女性比率は約26%だ。身近な問題を取り上げ、みんなで考えていかないとけない。

## 自由意見

■ 子宮がん検診を紙屋地区で行つてほしいが、少ないからだめだといわれた。

# 内山地区

参加者 18人

## テーマ①

### 有害鳥獣対策

■ 米を作っている。昨年から防護ネットを頼んでいるが、まだ来ない。

【調査事項】 今後は老朽化が課題。市は災害時機能の充実と長寿命化対策として、国の施策に従って計画策定に取り組み考えである。

■ はまだストア西側道路踏切整備の件はどうなったか。

【調査事項】 現在①踏切改良②道路改良③橋梁の架け替えを県に交渉中。まず道路敷地内の個人名義の土地を県道に編入するため、調査委託料を予算計上し、9月議会で可決された。議会でも実現に向け話し合っていく。

■ 北西方に避難所がない。議会から強く要望してほしい。

【調査事項】 市も状況を理解している。自主避難所として公民館等を利用できないか検討するということなので、議会としても一般質問等で要望していく。

■ 今鹿と猪だが、猿がきたら終わりだと思ふ。

【調査事項】 議会でも取り上げているが、予算がなくて、すべてに配慮切れない状況である。もう少し強くこのような声があつたと伝える。

■ 今鹿と猪だが、猿がきたら終わりだと思ふ。

【調査事項】 広域での取り組みが必要になってくる。県にも相談しながら取り組みたい。

■ ふるさと納税の返礼品として、鹿肉は使えないか。

■ 駆除した鹿肉を販売するには、マニュアルに沿った解体が必要。解体場を作る必要も出てくる。まだマニュアルができていない。

## 自由意見

■ 市立特老はできないか。  
■ 色々な問題がある。要望は伝える。

■ 小学校は解体するのか。  
【調査事項】 今は予定はない。地域で使用するのであれば可である。

■ 庁舎建設用木材の保管は、枝を付けたままが乾燥も早かった。建設は地元業者で。

【調査事項】 出来るだけ地元業者を使うと言っている。

# 野尻小校区

参加者 31人

## テーマ① 空き家問題



■ 空き家が社会問題となつてい  
る。空き家への入居者募集を積極  
に進め、迷惑をかけている空き家  
をどうするか、固定資産税を徴収  
できているか等、市は対策を考  
えてほしい。

【調査事項】市は空き家の実態調査を実施する。特定空家等について  
の条例制定が必要と思われるので、今  
後も一般質問や委員会審査を通し  
て質していく。

## テーマ② 合併の効果

■ 合併して良いことがない。運動  
会、ランドゴルフ、駅伝大会は全  
て小林的中央部で実施され、野尻  
からは代表者だけの参加である。野  
尻でも開催できるように配慮してほ  
しい。

【調査事項】全市民が集うためには  
会場の広さ、駐車場の確保、交通規  
制など課題がある。今後の課題とし  
て議論していく。

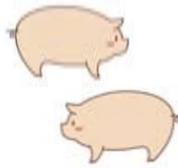
## 自由意見

■ 今後、区の統合や議員の定数、  
報酬も考慮すべきである。また、市  
の職員の給与はラスパレス指数90  
に減らすべきである。議員はもっと  
行財政改革に努力してほしい。  
■ 区の統合や議員の定数、報酬等、  
行財政改革について今後議論すべ  
き課題と考える。

# 永久津地区

参加者 21人

## テーマ① 養豚場再開



■ 以前あった養豚場が競売で購入  
され、再開されようとしている。養  
豚場から出る悪臭、排水路へ流れ出  
る汚水などで苦情が多かった。汚水  
による窒素過多で稲の倒伏被害も  
あった。養豚場の再開が予想され、  
悪臭、汚水が心配され住民は不安で  
ある。農場主、市など説明会はでき  
るのか。

■ 公害防止協定は引き継がれるの  
か。  
■ 反対運動する場合、どのような  
ことが考えられるか。

■ 養豚場再開の場合は、公害防止  
協定11条で、次の経営者に引き継  
がれる。  
■ 協定は、区長立会いで、農場主  
と市が結ぶことになるが、お互いの  
信頼関係を尊重するが、罰則はない。  
■ 協定では、母豚二百頭の経営で  
ある。

■ 糞尿の処理能力を超えるとき  
は、市や保健所の指導が考えられる。  
■ 市に地元の意見をまとめて要望  
してはどうか。再開反対の運動は、  
勉強しながら行動することが必要  
だ。畜産課を窓口に対処してはど  
うか。

【調査事項】競売による購入予定者  
に対して農業委員会から交付された  
農地法第3条（農地利用）許可証は、  
購入予定者の都合により返戻され、  
同時に県に対する農地法第5条（転  
用）の申請も取り下げられた。

# 鳥田町地区

参加者 17人

## テーマ① 鳥田町地区を元気にする ために取り組むべきこと

■ 地域活性化交付金の継続をお願  
いしたい。  
■ 要望は承った。

■ 地域支援員が介護関係までやっ  
ているところもあると聞いている。  
広範囲にできる技量のある人を望む  
という意見が出ている。

## 自由意見

■ 農機具の盗難等の犯罪が多く発  
生している。防犯対策のため、防犯  
カメラを設置してほしい。  
■ ごみの不法投棄防止のため設置  
しているが、その他は民間対応で、  
市では設置していない。

■ 意見交換会の反応はどうか。出  
た意見はどう生かされているのか。  
■ 議員とコミュニケーションをと  
る機会が持てるということで、反応  
は非常にいい。各地区の意見をま  
とめ、議員が個々に対応した方がい  
いこと、議会全体で取り組むべきこ  
となど整理し、結果ははなみずきで公  
表する。

■ 鹿や猪の増加で、ヤマヒルが活  
動範囲を広げている。殺虫剤を配布  
し、生活空間から駆除していくとい  
うような方法は取れないか。

■ 鳥獣被害として  
提案しているが、有  
効な手立てが見つ  
からない。議会として  
この問題は取り上げ  
ていきたい。



# 南小校区

参加者 22人

## テーマ① 防犯灯・安全灯の設置

■ 避難所付近（南小の周り）にソー  
ラー式の防犯・安全灯を設置してほ  
しい。

■ ソーラー式は1基60万円必要。  
県の補助事業を活用し進めていくと  
のことである。

■ 防災・防犯メールの送信が遅い。  
■ 機器の関係上どうしても遅れ  
る。市は少しでも早くなるように努  
力することである。

■ 台風の時等、避難の連絡に苦勞  
している。小林地区にも防災無線の  
設置を。

■ 多額の予算が必要。議会として  
も、共通認識として検討していき  
たい。



## テーマ② 高齢者のごみ分別・収集

■ もう少し緩和できないか。  
■ 他の地区でも要望がある。一般  
質問や委員会審査を通して要望して  
いる。



## 自由意見

■ 子育て中の母親の意見が聞ける  
ような場を計画してほしい。  
■ 多くの市民の声を聞く場をもつ  
と増やしてほしい。  
■ 現在、意見交換会を年1回開催  
している。今後、増やせるのか検討  
する。また、要望があれば分野別の  
意見交換会に対応していく。

## 議会活動報告への意見

■ 不妊治療への社会的理解が低い  
ので、周知活動も必要。対応に力を  
入れることで、小林の魅力になるの  
では。  
■ 市民への周知等、議会として、  
支援を検討したい。

# 栗須小校区

参加者 28人

## テーマ① まちづくり協議会と議 会・議員の関わり

■ きずな協働体として「輝けフロ  
ンティアのじり」のまちづくり協  
議会が発足した。

■ 野尻町区では、紙屋一徳協  
議会、野尻小学校区まちづくり協  
議会、三ヶ野山スマイル協議会の三  
協議会で構成されている。

■ それぞれの地域で特色ある協  
議会にしたいが、予算の要望につ  
いては公正な対応ができるのか。

■ 予算の配分については、公平な  
配分がされると思う。きずな協働  
体の活動としても同じ支援になる  
と思う。議員は各協働体の一員と  
して活動することになる。

■ 西小林小校区では「にっこば  
まちづくり協議会」が立ち上がった  
り、それぞれの部会が活動してい  
る。今後協議会として、自主財源  
の確保、新規作物の導入など取り  
組もうとしている。



# 須木小校区

参加者 12人

## 自由意見

■ 現在、市政座談会をやっている  
が、市がしないのなら議会で2回  
以上やってほしい。

■ 今のところ議会全体で年1回開  
催。常任委員会等で分野別意見交  
換会を要望があれば対応している。

■ 軍谷トンネルが心配。今までも  
幾度となく要望してきたが、対応が  
不十分。地震が起きたら、今トン  
ネル上部の木を伐採しているので心  
配である。

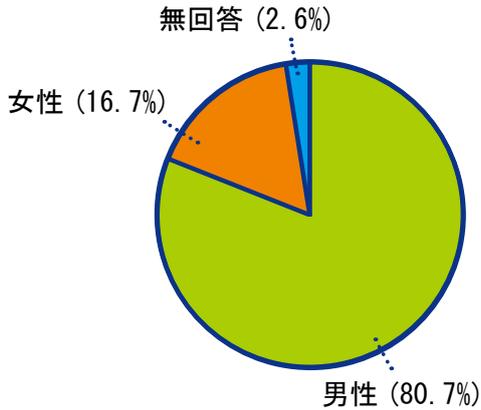
■ 県に再度伝える。今後、きち  
とした対応を求めていきたい。  
■ 傍聴席にある議会モニターが見  
づらい。タイミングが合わないとき  
がある。

■ 庁舎建設に伴い仮議場に移転す  
るので、確認するように伝える。

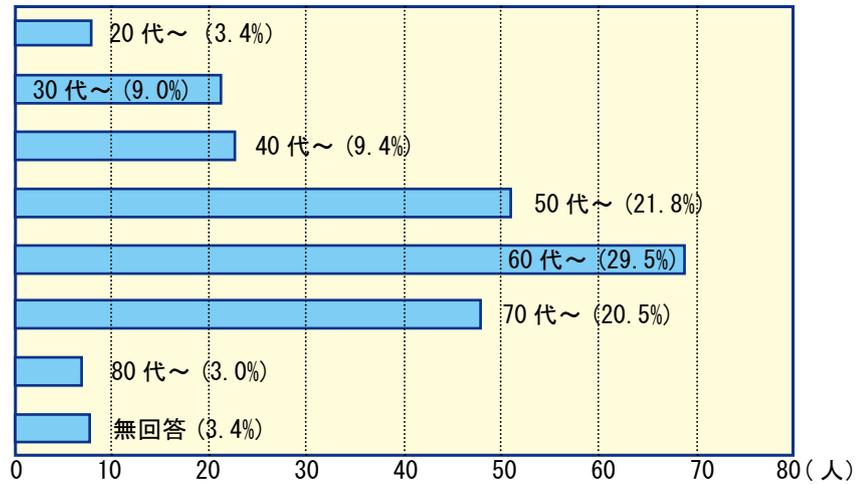


# アンケート調査から分かること

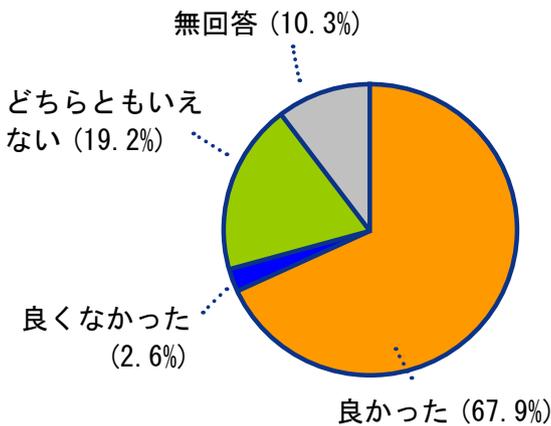
## 参加者の男女の割合



## 参加者の年齢層



## 意見交換会の評価



## 「良かった」という方の意見

- 市民の現実に即した意見・要望が思ったより出されたことは良かったと思う。
- 現在の小林市議会の取り組んでいる状態がよくわかった。
- 子育てについて、年代を超えた参加者から多くの意見が出された。(テーマ設定があり、わかりやすかった。)議員の対応(答え)も的確であった。
- 市民の意見に対して、議員さんから直ぐに答えが聞けて良かった。
- 住民からの意見が行政に反映されると感じた。議員と直接討論する場がないので、こういった意見交換会を年2回ぐらいは実施してほしい。
- 中小企業の誘致を全議員一丸となって行動してください。
- 議員と自由に意見交換ができることは良い取り組みであり、継続していくことが必要と思う。

## 自由意見から

- 子育て世帯の女性が参加しやすい会議をお願いします。
- ビジョンと指針を紙などで表示して貼りだしていただきたい。
- 夏日が長く、夕方遅くまで農作業をしているため、午後7時開始を30分遅くしてもらいたい。
- 議会としての日頃の活動状況をもっと前面に出してPRしてもらいたい。投票率の向上にもつな

## 「良くなかった」

### 「どちらともいえない」という方の意見

- 議会の活動(議員の働き)が全く見えてず、議会の決定通りの話でがっかりしました。
- 住民の意見(不満に思うこと、良いと思うこと)などをもっと意見がたくさん出やすいようにしていただくと、もっと良いのではないかと。
- いい機会の意見交換会なのに参加人数が少ない。もっと案内や声かけをした方がいいのではないかと。
- 説明・資料ともに不足。会の進め方に工夫ほしい。
- 陳情の場となってはおもしろくない。
- 行政の考え方を代読するのではなく、行政の考え方は・・・だが、議会としてはこう対応したいとの考え方で意見交換してほしい。